

令和6年度 学校経営方針 ～生徒が主体的に学ぶ神山中学校をめざして～

「主体的に学ぶ」とは

- ①講義形式に徹する授業の形から脱却する。
新学習指導要領や GIGA スクール構想に対応
- ②生徒が「する」ための仕掛けづくりを考える。
学校で過ごす時間は、子供たちの生活中的の25%しかない。
- ③学校へ来る原動力となるような生き生きとした学びを構築する。
授業等による不登校の防止・対応

1 校訓 「やり遂げる」

2 学校教育目標

校訓「やり遂げる」の精神で、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かでたくましい生徒を育てる。



3 めざす生徒像

- 進んで学習に取り組むことができる生徒
- お互いを認め、支え合える生徒
- 健康で明るく、主体的に行動できる生徒

4 めざす教師像

- 教育に情熱を持ち、授業を大切にせる教師
- 生徒に学び、ともに伸びていこうとする教師
- 教員としての自覚を持ち、研修を大事にする教師

5 経営の基本方針

- (1) 基本的な生活習慣や学習習慣の定着を図り、未来を切り拓く力の育成に努める。
- (2) 心身ともに健全で、人権を大切にせる生徒の育成に努める。
- (3) 生徒の自主性を育む授業等の推進に努める。
- (4) 家庭や地域との連携を図り、信頼される学校づくりの推進に努める。

6 本年度の重点目標

- (1) 安全・安心な学校づくりを推進する。
- (2) 主体的な学びにより確かな学力を育成する。
- (3) 豊かな心と健やかに生きる力を育成する。
- (4) 保護者や地域住民に信頼される学校づくりを推進する。
- (5) 協働した組織的な業務執行体制により、機能的で合理的な学校運営を行う。

7 本年度の重点目標の内容

- (1) 安全・安心な学校づくりを推進する。
 - ①安全・防災教育を推進するとともに、学校の安全対策及び感染症対策に努める。
 - ②生徒相互及び教師と生徒間の信頼関係を確立するとともに、いじめや不登校の早期対応と解消に向けた取組に努める。

- (2) 確かな学力を育成する。
 - ①主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、ICT を活用した授業実践を展開する。
 - ②生徒自身が学びによって喜びや達成感を実感できる学習活動を展開する。
 - ③生徒が自分の将来にとって必要な学びを意識し、主体的に学習に取り組む態度を育てる。

- (3) 豊かな心と健やかに生きる力を育成する。
 - ①基本的な生活習慣の定着を図り、運動機会を大切にするとともに、特別活動等を通して自発性や創造力を伸長する。
 - ②人権を尊重する精神を育み、同和問題をはじめとする人権問題についての正しい理解と実践力の育成に努める。
 - ③特別支援教育のための校内体制を充実させ、適切な合理的配慮を生徒に提供する。

- (4) 保護者や地域住民に信頼される学校づくりを推進する。
 - ①各種たよりの発行やホームページの活用により、積極的な情報発信を行う。
 - ②教職員のコンプライアンス意識の醸成に努め、信頼される学校組織をつくる。
 - ③ふるさとに学ぶ学習活動を重視し、校区の学校や団体と連携しながら、へき地教育の研究活動を進める。

- (5) 協働した組織的な業務執行体制により、機能的で合理的な学校運営を行う。
 - ①教職員の個々の取組の上に教職員の協働した取組を重ねる。
 - ②全職員による共通理解を大切にし、個々の研修の成果を教職員全員と共有する。
 - ③全ての業務を見渡したときに公平感を感じられる組織づくりを進め、学校の体制としての働き方改革を推進する。